



7月1日～31日は強調月間

“社会を明るくする運動”

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

☎ 福祉課保護係 ☎95-9883

“社会を明るくする運動”は、全ての国民が、犯罪や非行の防止と、過ちを犯した人の立ち直りについて理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築くための法務省が主唱する全国的な運動で、今年で71回目を迎えます。

市では強調月間である7月に、保護司会や更生保護女性会が中心となって、例年は市内スーパーの店頭などで街頭啓発活動を行っています。しかし、新型コロナウイルスの影響で昨年度に続き今年度も街頭啓発活動は見合わせ、今年度は市役所1階ホールに専用ブースを設け、標語コンテストの作品や啓発パネルなどの展示とともに実行委員が啓発活動を実施します。

啓発活動には、この運動の趣旨に賛同いただいた企業・団体・個人の協賛金にて作成したハンドタオルの啓発グッズを活用します。ハンドタオルの入っている袋の中には、市内中学生から募集した“社会を明るくする運動”の標語の優秀作品が印刷物として入っております。手にされた方は是非読んでください。

保護司

犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支えるボランティアです。保護観察対象者の生活環境の調整や、犯罪予防活動に取り組んでいます。市内には24人います。

更生保護女性会

女性の立場から、地域における犯罪予防の活動や子どもたちの健全育成のための子育て支援活動などを行うボランティア団体です。市内の会員数は104人です。

協力雇用主

犯罪や非行の前歴のために、定職に就くことが容易ではない刑務所出所者などを、その事情を理解した上で雇用し、改善更生に協力する民間の事業主です。市内に9社あります。

“社会を明るくする運動” 標語作品入賞作品

市内の中学生から2千13点の応募があり、以下の作品が入賞しました（敬称略）。

最優秀賞

目を向けて まわりにあふれる 優しさに

永野結愛（中央中1年）

優秀賞

辛いこと 我慢は禁止 すぐ相談
換気しよ 心の窓も 全開に

服部真音（東中3年）
角谷総太（南中2年）

入選

気づいてよ 言葉のナイフ 刺さってる
つらいとき 迷わず言おう 「助けて」と
万引きは 心のカメラに 映ってます
その言葉 送信取り消し できないよ？
マスクでも 君の笑顔は よく見える
あいさつは 人とを結ぶ 愛言葉
これ基本！ されてやなこと 人にしない
悪い考え 良い考えに リサイクル
おはようは 希望と笑顔の 朝の花
あいさつと 笑顔の数は 比例する

鈴木貴子（南中1年）
鈴木飛羽（南中3年）
杉浦駿太（西端中2年）
杉浦 天（西端中3年）
稲葉巴香（東中3年）
高木陽詩（新川中3年）
畔柳創多（中央中2年）
工藤誠也（南中1年）
小林七海（南中2年）
鈴木葵斗（中央中1年）

碧南保護区保護司会碧南支部長賞

「いけないよ」 当たり前のこと 言える勇氣
言うよりも 言われる方が 忘れがたい
あいさつは 笑顔の花を 咲かす種
話してみて それが一番の くすりだよ
きれいな手 犯罪色に 染めないで

浅井祐樹（南中3年）
鈴木結芽（東中3年）
杉本開陽（南中2年）
阿部茉莉依（南中1年）
倉田花凜（南中1年）

市更生保護女性会会長賞

輪を作ろう いじめの輪でなく 仲間の輪
ありがとう その一言で みな笑顔
二度だけ 軽い気持ちが 重い罪
その言葉 凶器になって いませんか
あいさつは 元気になれる 合言葉

稲垣雄大（南中3年）
石川あさひ（南中2年）
石川晴日（南中2年）
野口良美（中央中2年）
亀島煌生（南中1年）

